

たけお  
武生恵子さん

岐阜市立図書館には全部で三十二種類の新聞を置いていて、毎日多くの利用があります。私たちが司書も、新聞を管理したり、調べ物をしたりと日々新聞に触れています。

例えば郷土の偉人などについて利用者から問い合わせが多い情報は、新聞の関連記事を切り抜いて冊子に貼り、提供しています。地域との関わりといった詳しい情報は、書籍には載って

## 郷土色あふれる地方面

いないからです。これまで岐阜ゆかりの戦国武将織田信長や、「命のビザ」で知られる外交官、杉原千畝などについてまとめました。

新聞はまさに日々の記録。特に地方面には、事件事故からイベントまで、速報性があるからこそ載る身近な情報がたくさん。私は東京都出身で、人口が多い東京の紙面と比べ、岐阜の地方面はより細かく郷土色にあふれていると感じます。そんな地方面はずっと残して欲しいです。

デジタル化の時代ですが、紙の新聞は、見出しの大きさでどのニュースが重要か一目で分かります。自分が知りたい情報以外も目に入ってきて知ることができるのが好きです。（岐阜市立中央図書館司書）